

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134042113	教職実践演習(中・高)	山田陽平・小野憲一		教職	2	選択	4後期

**科目の概要**

教職実践演習は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、本学の教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。受講生は、この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図る。それにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。

DP2「ライフスタイルのデザインを提案するために必要な衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付けて、地域再生に貢献することができる。」およびDP3「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。」を備えた家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

学修内容	到達目標
① 使命感や責任感、教育的愛情を確認する。 ② 社会性や対人関係能力を確認する。 ③ 生徒理解や学級経営に関する能力を確認する。 ④ 教科内容の指導力を確認する。	① 使命感や責任感、教育的愛情が身に付いている。 ② 社会性や対人関係能力が身に付いている。 ③ 生徒理解や学級経営に関する能力が身に付いている。 ④ 教科内容の指導力が身に付いている。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	物事に進んで取り組んでいる。
	働きかけ力	
	実行力	目的を設定し、確実に行動している。
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。
	計画力	
	創造力	新しい価値を生み出している。
チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝えている。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴いている。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	社会のルールや人との約束を守っている。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

適宜、資料を配付する。  
 参考文献：『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』 『教職実践演習ワークブック』  
 これまでの修得科目のテキスト、中高家庭科の教科書、中高学習指導要領

**他科目との関連、資格との関連**

「教職実践演習」は教職に関する科目であり、4年次前期までに学修した全ての科目を振り返る総復習の場となる。中学校教諭一種免許状（家庭）・高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得するために履修する必要がある。

学修上の助言	受講生とのルール
最低限、次のことに取り組むことが単位修得の条件です。 ・教職履修カルテを読み直すこと。 ・自己評価および他者評価を行い、自身の資質能力を的確に把握することに努めること。 ・不足している資質能力を補う努力を行うこと。	教職課程の集大成の科目であることから、原則として、1回の欠席も認めない。実習および公式試合の場合はこのとおりではない。ただし、欠席する場合は、事前に担当教員まで連絡をした上で、補習に代える。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
		レポート		0	①					
					②					
					③					
					④					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓				
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
総合評価割合		100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において9割以上の得点率</p> <p>A評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において8割以上の得点率</p>	<p>B評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において7割以上の得点率</p> <p>C評価：平常評価（成果発表の課題・社会人基礎力）において6割以上の得点率</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	4年間の学修の振り返りおよび自己評価(1)(山田・小野) 教職履修カルテと自己評価シートを基本としつつ、4年間の全ての学修資料を使って自分の学修状況を振り返るとともに、教職課程修了までに学び直さなければならない課題を明らかにし、学び直しのプランを立てて実行する。	講義 演習 google classroom	教師に求められる力量を理解するとともに、自身の現状の力量を把握できている。	予習：シラバスを読んでおく。 復習：自治体等の教員育成指標を読み、教師に求められる力量を確認する。教職履修カルテを読み直し、教員として最小限必要な資質能力を身に付けるための学修計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	4年間の学修の振り返りおよび自己評価(2)(山田・小野) 4年間の学修で、 1) 最高のパフォーマンスをしたもの(課題・レポートなど) 2) 改善すべきと自覚しているもの(最低かどうかは問わない)を一つずつプレゼンテーションする。	演習 google classroom	教師に求められる力量を理解するとともに、自身の現状の力量を把握できている。	予習：教職履修カルテを読み直し、教員として最小限必要な資質能力を身に付けるための学修計画を立てる。 復習：授業でのディスカッションを踏まえて、学修計画を改善し直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	4年間の学修の振り返りおよび自己評価(3)(山田・小野) 4年間の学修で、 1) 最高のパフォーマンスをしたもの(課題・レポートなど) 2) 改善すべきと自覚しているもの(最低かどうかは問わない)を一つずつプレゼンテーションする。	演習 google classroom	教師に求められる力量を理解するとともに、自身の現状の力量を把握できている。	予習：教職履修カルテを読み直し、教員として最小限必要な資質能力を身に付けるための学修計画を立てる。 復習：授業でのディスカッションを踏まえて、学修計画を改善し直す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	教職に関するテーマで議論(1)(山田・小野) 例) 2022年のテーマ：部活動3人一組のグループにして、指定したテーマについて、正論(一般論)・反論・折衷論などの三方向からの情報を調べて話題提供してもらい、全員で議論する。	演習 google classroom	教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。 組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	教職に関するテーマで議論(2)(山田・小野) 例) 2022年のテーマ：生きるための力 3人一組のグループにして、指定したテーマについて、正論(一般論)・反論・折衷論などの三方向からの情報を調べて話題提供してもらい、全員で議論する。	演習 google classroom	保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。 生徒に対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	教職に関するテーマで議論(3)(山田・小野) 例) 2022年のテーマ：多様性(宗教・性別・障害) 3人一組のグループにして、指定したテーマについて、正論(一般論)・反論・折衷論などの三方向からの情報を調べて話題提供してもらい、全員で議論する。	演習 google classroom	生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。 生徒との間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行うことができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	授業の問いの作り方(山田・小野)	講義 演習 google classroom miro	授業の問いの作り方のポイントを挙げることができる。	予習：配付資料を読み、プレゼンテーション資料を作成する。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	授業の問いを改善させる(1)(山田・小野)	演習 google classroom miro	これまでの学修(指導案作り、模擬授業、教育実習)で作成した問いを分析して、改善案を作ることができる。	予習：これまでの学修(指導案作り、模擬授業、教育実習)で作成した問いを分析して、改善案を作る。 復習：授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	授業の問いを改善させる(2)(山田・小野)	演習 google classroom miro	これまでの学修(指導案作り, 模擬授業, 教育実習)で作成した問いを分析して, 改善案を作ることができる。	予習: これまでの学修(指導案作り, 模擬授業, 教育実習)で作成した問いを分析して, 改善案を作る。 復習: 授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作る(1)(山田・小野)	演習 google classroom miro	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作ることができる。	予習: 指定された家庭科分野を深く学ばせるための問いを作る。 復習: 授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作る(2)(山田・小野)	演習 google classroom miro	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作ることができる。	予習: 指定された家庭科分野を深く学ばせるための問いを作る。 復習: 授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作る(3)(山田・小野)	演習 google classroom miro	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作ることができる。	予習: 指定された家庭科分野を深く学ばせるための問いを作る。 復習: 授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作る(4)(山田・小野)	演習 google classroom miro	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作ることができる。	予習: 指定された家庭科分野を深く学ばせるための問いを作る。 復習: 授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作る(5)(山田・小野)	演習 google classroom miro	主体的・対話的で深い学びの授業を想定した問いを作ることができる。	予習: 指定された家庭科分野を深く学ばせるための問いを作る。 復習: 授業を通して大事だと思ったことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	教職実践演習を通じた学びを振り返り, 教員として最小限必要な資質能力を身に付けているかを確認する。(山田・小野)	演習 google classroom miro	教員として最小限必要な資質能力を身に付けている。	予習: 1から3週目に立てた学修計画を見なおして, 教員として最小限必要な資質能力を身に付けることができたかを確認する。 復習: 教員として必要な資質能力を身に付けていることを記録に残す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力